

## 彙 報

### ◇ 第 41 回大会

神戸市外国語大学図書館において 10 月 24 日講演会を開催。

シェクスピアの言語観

山本忠雄氏

表現の効果について

泉井久之助氏

### 関西地区研究発表会

神戸市外国語大学図書館において 10 月 25 日開催 (pp.68参照)。

### 評議員会・委員会

10 月 25 日 神戸外国語大学図書館において委員会を開催。

1. 第 42 回大会は明治大学で行う。
2. 第 43 回大会は大阪大学で行う。
3. 35 年 8 月にベルギーで開催される第 1 回国際方言学会に当学会代表として吉町義雄, 柴田武両氏を推薦する。

◇本会評議員市河三喜氏は 11月3日 文化功労者として受賞された。有志が英文学会と共同で 11月21日 東京赤坂プリンス・ホテルにおいて記念祝賀会を開催した。

◇本会評議員神保格氏は11月3日 紫綬褒賞を受賞された。有志が日本音声学会と共同で 12月6日 東京私学会館において記念祝賀会を開催した。

◇本会委員江実氏、幹事西田龍雄氏は 5月3日 居庸関の研究により学士院賞を受賞された。

◇本会評議員千葉勉氏は 12月21日 逝去された。氏は明治 16年4月 宮城県に生れ、第二高等学校を経て、明治 40年 東京帝国大学文学部英吉利文学科を卒業。明治 43年～大正 2年同大学文学部講師。大正 2年～5年英国に留学。帰国後東大および東京外国語学校の講師を兼ね、昭和 2年東大を辞し、大正 8年同外国語学校教授、昭和 20年停年退官。同 25年上智大学教授。昭和 4年東京外国語学校に日本最初の音声学実験室を設立、いくたの注目すべき研究をなしたが、昭和 20年 空襲により消失。主著に、Research into the Characteristics of the Five Japanese Vowels

(Compared Analytically with Those of the Eight Cardinal Vowels), 1931; A Study of Accent (Research into Its Nature and Scope in the Light of Experimental Phonetics, 1935; The Vowel, its Nature and Structure, 1941 (梶山正登氏との共著) などがある。最後のものは、母音の調音における vocal tract (声門より唇にいたる空洞) の物理学的機能を研究し、母音学説に大きい寄与をなしたもので、世界的需要により、1958年再刊された。

---

[36号訂正]

頁	行	誤	正
表紙裏		岡部菊男	宮部菊男
2	(注)	言語研究 35	言語研究 36
2	(注)	徳川	徳川
5	(注)	図左の区画	左図の区画
26	(第10図)	東 meboro, meborai	東 それ以外
	西	西 それ以外	meboro, meborai
		西 氷 / 薄氷・柱	西 氷 / 薄氷・氷柱

---

「言語研究」バックナンバーの在庫

13号	¥ 150	〒 16	31号	¥ 250	〒 16
17/18号	¥ 250	〒 24	32号	¥ 300	〒 16
19/20号	¥ 270	〒 24	33号	¥ 200	〒 16
21号	¥ 150	〒 16	34号	¥ 250	〒 16
25号	¥ 250	〒 16	35号	¥ 250	〒 16
26/27号	¥ 500	〒 23	36号	¥ 250	〒 16
30号	¥ 250	〒 16			